

忙しい12月

プレゼントはここで

地球上の2/3の人は、ローマカトリック、ギリシア正教、プロテスタント、その他さまざまなキリスト教の宗派信者としてキリストの存在を信じています。さらに、イスラム教徒、仏教徒、ヒンドゥー教徒なども「人の子」としてキリストの存在を認識しています。ユダヤ・キリスト教文明では、毎年12月25日をキリストの誕生日(降誕祭ともいう)として祝っていますが、この日を祝い始めた起源は、4世紀に遡ります。また、ミトラ教(太陽神ミトラスを主神とする)の冬至の祭りを転用したとも言われています。

近年は宗教に関係なく、この日に家族で食事をし、プレゼントの交換をします。ところが、ベルギーやオランダでは、12月6日にサン・ニコラの日があり、子どもたちはこの日にプレゼントをもらいます。サンタクロースが早く来るのです。そして、クリスマスにもプレゼントをもらうという家庭もあります。子どもにとっては、プレゼント・オンパレードの12月です。もちろんプレゼントは両親が用意するので、12月に入ると親はプレゼント探しに奔走します。

そこで、ブリュッセルのお勧めおもちゃ屋さんを紹介しましょう。

The Grasshopper

Rue du Marché aux Herbes 39-43, 1000 Brussels

Tel : 02 511 96 22

Pépin la Lune

Rue des Chartreux 44, 1000 Brussels

Tel : 02 610 97 36

Kinkajou

rue Haute 340, 1000 Brussels

Tel : 02 731 68 11

Woodee

Avenue Félix Marchal 33, 1030 Schaerbeek

Tel : 02 742 33 56

Casse-Noisettes

Chaussée d'Alsemberg 76, 1060 Saint-Gilles

Tel : 02 537 83 92

*上記店舗: French Connectより

www.french-connect.com/index?site_cc=be



子どもへのプレゼント探しが終わったけれど、子どもの学校や習い事の先生にも可愛いものをプレゼントしたいと思っている方も多いはず。そんなときは、クリスマス市に出かけてみましょう。ブリュッセルのクリスマス市の招待国は、友好150周年を記念して日本が選ばれました。



夜のクリスマス市は、冬の風物詩の趣きがありますが、すごい人ごみになることもあるので、日中に買い物に出かけるのがいいかもしれません。そして、ついでにグランプラスのクリスマスツリーや馬小屋の写真の撮るのを忘れずに。夜には家族と出かけて、ライトに照らされた街の雰囲気も味わってください。グランプラスでは、音と光のショーも行われ、寒さを吹っ飛ばしてくれます。ホットワインやクリスマスビールを片手に散策すると、すっかりバカンス気分です。サンタクロースにも出会えるかもしれませんね。



サン・ミッシェル教会では、1月はじめまで各国の馬小屋展が開催されています。オランダ人神父作の日本の馬小屋もありますので、是非のぞいてみてください。

そして、1月6日は、ガレット・デ・ロワの日です。アーモンドペーストの入ったパイを食べながら、中に隠された陶器の人形を探し、その日王様になるために、子どもたちはワクワクしながらパイをほうばります。アーモンドを食べられない子ども用に、りんごのコンポートの入ったパイもあります。



スーパーをはじめ、パン屋にたくさん並びます。6日を過ぎると、なくなりますので、忘れずに購入しましょう。

さあ、皆さんもベルギー人に混じって、冬のイベントをお楽しみください。